

## みんなで支える森林づくり北信地域会議（第2回）概要

1 開催日時 平成24年2月28日（火）午後13時30分から15時まで

2 開催場所 中野市大字壁田 北信合同庁舎 4階 講堂

3 出席者 委員 8名

◎竹節 義孝 山ノ内町長

高森 壽實夫 北信州森林組合長

桑原 重雄 栄村森林組合長

宮崎 正毅 NPO 法人 北信州の森林と家をつなぐ会 代表理事

高坂 光浩 みどりの少年団北信地区協議会長

竹節 高四郎 自然公園指導員

佐藤 勝志 北信猟友会

笹岡 紀美雄 指導林家

※オブザーバー 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村  
北信州森林組合、栄村森林組合

※一般傍聴者 なし

※報道関係者 北信ローカル

4 開会（あいさつ 窪田北信地方事務所長）

5 会議事項

（1）平成23年度長野県森林づくり県民税活用事業の実施状況について

ア 森林づくり県民税活用事業1「手入れの遅れている里山での間伐の推進」について

イ 森林づくり県民税活用事業3「木育推進事業」について

ウ 森林づくり県民税活用事業2「森林づくり推進支援金」について

※市町村担当者がオブザーバー出席し、各事業の進捗状況等について説明

（2）平成24年度長野県森林づくり県民税活用事業の動向について

（3）長野県森林づくり県民税アンケート結果について

（4）平成24年度林業関係予算について

（5）意見交換

（6）その他

6 閉会

## 7 議事録

### (1) 平成 23 年度長野県森林づくり県民税活用事業の実施状況について

#### ◇高森委員

市町村の取り組み、積極的な対応わかった。今後は切り捨て材の利用による木材利用率の向上を検討していただきたい。

#### ◇事務局

農業用あるいはきのこ用に利用できないかを含め、県でアンケート調査を実施している。その結果を踏まえ、今後、利用促進を検討していきたい。

また、きのこ資材の入荷が困難となり、地元産の資材を使いたい（購入したい）という意見が多くあるため、材の供給等に森林組合の協力をお願いしたい。

#### ◇宮崎委員

里山集約化に関する一覧表を見ると計画の遂行率が低く見えるが、実際は他事業で実施しているとの説明があった。この一覧表を公表すると一般の方の誤解を受けやすいので、公表に当たっては表示方法を工夫したほうがよい。

#### ◇事務局

表示方法を工夫し、公表したい。

### (2) 平成 24 年度長野県森林づくり県民税活用事業の動向について

#### ◇佐藤委員

復興支援事業とは、どんな事業（仕組み）か。

#### ◇事務局

対象となる市町村が実施する森林整備に対し、交付金を支出するもので、平成 24 年度までに限定された事業である。搬出した間伐材等を復興に使ってもらいたいという事業の趣旨となっている。

#### ◇高森委員

事業費を見ると、次年度に見込まれている森林税の額以上の金額で予算を組んでいるが、その差額はどのような財源を充てているのか。

#### ◇事務局

差額は国庫補助金である。国庫補助金に森林税を上乗せした形で予算を組んでいる。

#### ◇高森委員

林務部の県全体の予算のうち、森林税がどのように使われているか簡単にわかる資料はあるか。

#### ◇事務局

平成 23 年度まで内訳については、「林務部業務概要」に記載されている。平成 24 年度の予算については、現在県議会 2 月定例会で審議している。平成 24 年度の「林務部業務概要」が発行されるのは 5 月頃となるが、できるだけ早い時期に委員のみなさんへお届けしたい。

### (3) 長野県森林づくり県民税アンケート結果について

#### ◇高森委員

漏れ聞くとところによると、知事は森林税を環境分野にも充てたい考えを持っているようだが、アンケート結果からも伺えるのか。

◇事務局

環境分野にも充ててほしいといった意見は出ていない。また、そのような設問も設けられていない。

(4) 平成 24 年度林業関係予算について

◇佐藤委員

野生鳥獣被害対策の推進として、狩猟者（わな猟）の確保とニホンジカ等の捕獲強化が挙げられているが、北信地方事務所管内ではどのようなことを計画しているのか。

また、緩衝帯整備以外の事業（ソフト事業）に森林税を活用できるのか。

◇事務局

狩猟者の確保対策として、わな猟免許の取得を考えている新規狩猟者あるいはわな猟免許を所有する初心者（3 年未満の者）に対して講習会を実施する。ニホンジカ等の捕獲対策についても、広域捕獲隊の編成や集落等捕獲隊の編成など雇用対策を含めた新たな事業を展開する予定である。

なお、森林税の活用については、現在事業メニューを検討しているため、ここでのコメントは差し控えたい。

◇桑原委員

地震による復興支援について、引き続きご協力をお願いしたい。

低質材の利用方法や用途について、新たな活路見いだしていただきたい。

◇事務局

活用できるものは広葉樹も活用することを念頭に、広葉樹を含めた森林の集約化を実現すべく検討している。

◇笹岡委員

山を整備するにしても所有者には力（労力、財力）がないため、森林税を活用し整備を進めなければいけないと考えている。県民アンケートの結果からも見て取れるが、森林税の使途として「木材の利用」が第一位となっている。県民や企業はよくわかっている。全ての問題は、木材の利用を拡大で解決するはず。

◇事務局

利用方法の拡大については、県では県産材利用指針を策定し、公共土木工事での利活用や木造建築物の積極的な建設を進めている。事業としては、従前の新築住宅への支援に加え、住宅等のリフォームへの支援を含めた利用拡大方法を検討している。

◇高坂委員

県植樹祭への「みどりの少年団」の参加はどうか。

◇事務局

休日での開催となるため、地元のみどりの少年団（野沢温泉小学校）が中心となって参加する方向で検討している。

みどりの少年団交流集会については、県植樹祭の雰囲気を感じてもらえるよう、県植樹祭と同じ会場での実施を計画している。

◇高坂委員

木育事業を実施しているのは、山ノ内町だけか。

◇事務局

要望があればどこの市町村でもできる。春先に要望を取りまとめるので、市町村担当者と調整してい

ただき、ぜひ手を上げていただきたい。

◇座長（竹節委員）

山ノ内町では、小中学生の卒業記念としてやっている。ぜひ要望をあげていただきたい。

◇竹節委員

最近は異常気象と言われているが、間伐を実施する場合、土砂崩落等の災害が発生しやすい場所を優先的に実施するなど、ナラ枯れ対策と併せて積極的にお願いしたい。水源地対策や森林病虫害対策は緊急の課題であり、森林税を充てて何かやれば県民へのPRにもなる。

また、有害鳥獣対策についても、市町村が連携して早め早めの対策をお願いしたい。

◇事務局

災害の危険がある場所は、教えていただきたい。有害鳥獣対策については、対策チームあげて支援していきたい。水源地対策については、県議会でも大きな問題となっている。外国資本による買収が大きな問題となっているが、保安林指定という手段もあるので検討していきたい。

◇宮崎委員

木育事業の予算は、減ってもいなければ増えてもない。木を使うことを子供の頃から教えていく必要があると考えている。ぜひ予算を増やし、木とふれあう機会を設けていただきたい。

先日、高丘小（4年生）で箸作りを実施したところ、子供たちがカッターナイフを使えたことに驚いた。材料の話をする上で森林整備（間伐）の話をしたが、「木を伐ることは森林破壊だ」という子供たちが多かったことにも驚いた。森林整備の必要性や森林破壊ではないことをしっかり教えていく必要があると痛感した。

【状況写真】

